

ひかりパワーストラップ(天御柱)

○イザナミ神社は、平安時代の延喜式神明帳に、阿波国美馬に鎮座、全国1社。と記録されています。

○伊弉冉尊(イザナミコト)は、伊弉諾尊(イザナノミコト)とともに、大八島を生み、大勢の神々を生みました。、子供たちの引きこもり、多動性障害などは、ご自分の責任と反省し、縁結び、縁切り、厄除け、子育て、病氣平癒、等、諸々の諸願を引き受ける神様となりました。奥ゆかしい日本女性の鏡的存在です。伊弉冉(イザナ)、伊弉諾(イザナ)の両神(フタミ)は、神代七代の七代目の神様です。

○初代はクニトコタチの神で、常世国(秀真ホマの国)を創り、2代目は8名の子供トホカミエヒタメのト豊雲野神(とよぐもぬのかみ)を代表とする首長国連邦(クニサッチ)、3代目はトヨクンス、4代目から夫婦神ウビチニ、スビチニ(伊勢の道=天の道を示し、ひな祭りの原型となる)5代目は、オオトノチ(殿)オオトマエ(前)6代目のオモタル(面足尊)カシコネは、子宝に恵まれず世継ぎ不在となり、気候変動、転変地変などにより、世の中が混乱し、統治不能になる。

○オモタル、カシコネの後見人の第五代タカミムスビのタマキネ(豊受大神)は、クニサッチの時代から採用されている合議制(神諮りに諮り)により前回一致で一組の夫婦(夫婦養子)を世継ぎとして選出した。その夫婦が、7代目イザナギ、イザナミ(両神)で、荒廃した全国の人心と、国土を立て直すために『トの教えと矛』を神宝として授けられ稲作の普及、人心安定、産業振興を成した(修理固性ツクリカマツタ)。すべてにおいて道理を通す政策によって、国家社会に安定をもたらし、全国に『あわうた』を教え、言葉を統一し、国土が復旧された。この7代の神様は神代7代(カミヨナヨ)の神様です。

○『理想的な国家とは、すべての人民が自分の生を正面から見据え、生きる価値を見出すことができる国家』天なる道は、それを可能にする教義だが、それを教え、実行する人材がない。そこで、イザナミの親神の豊受大神は、その人材を求め、8000日の願掛け、イザナミイザナギの両神(フタミ)は1000日の願掛けをして、太陽の御魂の世継ぎを賜った。(参考文献；はじめてのホツマツタエ)

○両神は、晩年は美馬国で過ごされ、イザナミは火の神を生んで、火傷をして、亡くなり、越の国(現在の旧麻植郡付近)と伯耆の国(旧美馬郡)の境の越の国の高山(高越山)に埋葬された。

○剣山の聖者から、神社仏閣は、基本的に龍穴(リュウケツ、パワースポット)を選んで建立してあると教えられ、伊弉冉神社元宮に於いても、元宮の湧泉から高越山に向かって、光の柱が走っているそうです。このパワーは、徳島県下壱のパワースポットだそうです。

○剣山においても、11年に一度、光の御柱が立つそうです。

○この光の柱(天御柱)のパワーを具現化して、作成されたのが、『光のパワーストラップ』

として、イザナミ神社及び伊弉冉神社元宮遥拝所の御守りとして、参拝の記念として、ご利用いただければ、幸いです。

○利用の仕方は、まずは身に付ける。子供のカバン、車のキー、財布等に、、、このパワーのご縁で、心(魂)身の次元上昇されますことを祈ります。

○両指でストラップをもち、人差し指と親指の付け根(合谷のツボ)にもう一つのストラップを乗せて 神参り、 瞑想すれば、 パワーが充満します。この状態で『あわうた』を歌えば、心身も爽快になってきます。

○あわうた(アカハマナ イキヒニミウク フムヌエケ ヘネメオコホノ モトロソヨ ヲテレセエツル スユンチリ シキタラサヤワ)(数回)

○厄除けのときは、消災秘密陀羅尼経、大祓い祝詞、天津祝詞などを唱えるとよい。

○祓い祝詞； トホカミエヒタメ祓い給へ 清め給へ 恵み給へ 幸へ給へ (3回～8回) と申す

○消災秘密陀羅尼経：ノウマクサマンダ ボタナン アバラチ カタシャーハ、ノウナン ダシタ オン、 リョウリョウ リョウリウンウン、 ジンバラ ジンバラ バラジンバラ バラジンバラ、 チューシュータ チューシュータ、シュウチリ シュウチリ、バーハッタ バーハッタ、センチリ リョウ、シツリ エイソワカ。

修理個性・国生み・神生み・光の御柱パワーストラップ

取り扱い 伊弉冉神社元宮倭遥拝所 (やまと麵工房内 0883-64-3988)

